

## 広島県立御調高等学校「まなびのとびら」(総合的な探究の時間)学習指導案

指導者 宇恵美咲 池田徳夫 宇都禎大 山根結実  
日野隼一 長原俊輔 長谷川真由美

1 日時・場所 令和6年11月14日(木) 13:30~14:40

2 学年・学級 第2学年 生徒35名

3 単元(教材)名 マイテーマを重視した取組の充実  
～地域とのつながりを手がかりに自らの発見した課題解決に向けた取組の発表・意見交換会～

### 4 単元について

#### (1)単元観

本校は、平成26年に文部科学省からユネスコスクールの指定を受けたことを契機に、ESDで育成する視点をもとに身に付けさせたい資質・能力を定めた。「地域と対話・協働し、自分を深掘りして尖った人材になる生徒を育成する」ことを教育目標に掲げ、その達成に向けた教育課程の中核に位置付けているのが、「総合的な探究の時間」である。従来までは、探究のプロセス(「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」「振り返り」)に則り、生徒が希望する御調の5宝(福祉・医療、ソフトボール、文化・伝統、食物、自然)を基にしたグループ単位で、御調地域の課題解決に取り組んできた。この取組は、課題を設定し、解決していくことで、自分の生き方を考えていくという点で効果的なものであった一方で、平成30年告示の高等学校指導要領「総合的な探究の時間」の特質である、「自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していく」ことを十分に踏まえていないという課題を抱えていた。そこで昨年度からは、自身の興味・関心に基づく自己の在り方生き方と一体的で不可分なマイテーマを各自が設定し、探究活動を行うこととした。

本単元では、これまでの活動を振り返り、今後の取組の見通しについて協議することで、取組の見直しを図る。これは、探究のプロセスの中の「整理・分析」にあたり、この単元の中で小さな探究のプロセスを実施するよう単元計画を立てている。1月末の中高合同発表会を見据え、6月の計画発表会以後、重点道の駅クロスロードみつぎで開催されるありがとうデー等のイベントを始め、自身で計画したものや、コンクールなどの企画へ参加するとともに、計画を見直しながら取組を進めている。

本時は、これまでの取組内容、取組に対する新たな仮説、今後の計画について発表する。生徒同士だけでなく、地域内外の方々との交流をもとに、今後の取組の修正を行う。この交流を通じて、「つながりを尊重する態度」「未来像を予測して計画を立てる力」を身に付けさせたい。

#### (2)生徒観

対象学年は、1年次の総合的な探究の時間「未来に生きる」の授業で職業インタビューを行ったり、地域で活躍する講師の方々を招き、講話を聞いたりしてきた。そのうえで、「御調地域の魅力や課題を生かして何ができるか」や「将来の自分の姿や興味の強い事柄から何をやってみたいか」、「そのためには誰とつながるべきか」等について考えてきた。地域とのつながりをもとに課題解決に向けた取組を自らの興味・関心に沿って考えていく活動を継続して行ってきた。こうした活動から、1学年時の年度末の自己評価において、「2学年時のまなびのとびらの学習について、地域とつながることや探究テーマについて見通しを持っている」という肯定的な回答をした生

徒が8割であった。

本年度は御調高 GP に基づいた振り返りを行っている。御調高校入学時の姿をマスタールーブリックのレベル1とし、卒業時の姿をレベル4と設定し、学期ごとに総合的な探究の時間や特別活動を振り返って自身の到達度を自己評価させた(下図参照)。

つな が り を 尊 重 す る 態 度	<b>【1年生】</b>	<b>つながり</b>	<b>【2年生】</b>	<b>つながり</b>	<b>【3年生】</b>	<b>つながり</b>
	レベル4	8%	レベル4	4%	レベル4	25%
	レベル3	27%	レベル3	41%	レベル3	53%
	レベル2	30%	レベル2	56%	レベル2	16%
	レベル1	35%	レベル1	7%	レベル1	6%
進 ん で 参 加 す る 態 度	<b>【1年生】</b>	<b>進んで</b>	<b>【2年生】</b>	<b>進んで</b>	<b>【3年生】</b>	<b>進んで</b>
	レベル4	16%	レベル4	11%	レベル4	44%
	レベル3	24%	レベル3	33%	レベル3	38%
	レベル2	43%	レベル2	48%	レベル2	13%
	レベル1	16%	レベル1	7%	レベル1	6%
未 来 像 を 予 測 し 計 画 を 立 て る 力	<b>【1年生】</b>	<b>未来像</b>	<b>【2年生】</b>	<b>未来像</b>	<b>【3年生】</b>	<b>未来像</b>
	レベル4	11%	レベル4	7%	レベル4	19%
	レベル3	16%	レベル3	26%	レベル3	56%
	レベル2	41%	レベル2	59%	レベル2	9%
	レベル1	32%	レベル1	7%	レベル1	16%

これによると、2学年の課題として、レベル2にとどまっている生徒が半数程度であるという課題が浮き彫りとなった。それぞれのレベル2の割合は「つながりを尊重する態度」では56%、「進んで参加する態度」は48%、「未来像を予測して計画を立てる力」については59%である。今後最高学年に向けてマスタールーブリックのレベル3に至るような仕掛けを打っていくことが必要であり、特に「つながりを尊重する態度」や「未来像を予測して計画を立てる力」の育成については、総合的な探究の時間“まなびのとびら”の役割が大きいと言える。

### (3) 指導観

指導に当たっては次のような工夫を行う。①探究のプロセスの中の「整理・分析」を意識的に行うことができるよう、「これまでに取り組んだこと」、「取り組んだことで気づいたこと」、「新たな仮説」、「今後の展望」という順序で構成された Google スライドを活用する。同スライドは、6月の計画発表会以降、修正を重ねながら継続的に作成しているものである。1月末に開催される中高合同発表会においても継続して用いることで、計画したことを実行できたかどうかを振り返ることができるようにする。この工夫は、「未来像を予測して計画を立てる力」の育成に関わる。②順序立てられた Google スライドの活用により、これまでの取組を関連付けながら整理させる。とりわけ、「地域の方々とのつながりなど」の視点から、これまでの取組を振り返らせることで、周りの人々や社会、地域に与える影響も考慮に入れて計画を見通させるようにしたい。なお、日頃から取組についてよく知っている同級生や教員だけでなく、学校運営協議会委員等地域内外の方々の力を借りながら、マイテーマを重視した取組の更なる充実を図る。

## 5 単元の目標

探究の見方・考え方を働かせ、地域とのつながりを手がかりに自ら発見した課題解決に向けた取組と、それをもとに見通した今後の取組の計画について協議することで、自分とは異なる価値観の人とも協働して、課題をよりよく解決していくための資質・能力を育成する。

## 6 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
地域や社会の人、もの、ことにかかわる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づいている。	自分たちの目標や計画を踏まえて、自分のやるべきことの計画を立てるとともに、活動の状況を踏まえて計画を修正している。【御調高 GP:未来像を予測して計画を立てる力】	自分たちの活動が、周りの人や社会、地域とどのようなつながりがあるか自覚し、自分の行動が及ぼす影響を考えている。【御調高 GP:つながりを尊重する態度】

## 7 単元の計画

次	時	学習内容・学習活動	評価			
			ア 知 技	イ 思 判 表	ウ 主 体 的	評価規準 評価方法
1	4	「課題の発見・設定」 ・これまでの個人の取組を振り返り、計画の見直しを行う		○	○	イ・ウ ・ワークシート ・行動観察
2	6	「情報の収集」「整理・分析」 ・見直した計画に向けて情報収集を行い、個人の取組を進める	○		○	ア・イ ・行動観察
3	4	「まとめ・表現」 ・個人の取組の見直しを深め、今後の計画を見通す		◎	◎	イ・ウ ・ワークシート ・発表用スライド (Google スライド) ・振り返りカード (ロイロノート) ・行動観察

◎記録のための評価 ○改善のための評価

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

地域の方々とのつながりを踏まえた、これまでの取組内容を他者と伝え合うことで、自分の考えを深め、今後の計画を見通すことができる。

### (2) 本時の評価規準

・自分たちの目標や計画を踏まえて、今後の展望を見据えたスライドを作成するとともに、他者の意見を踏まえて、計画を修正している。

〔思考・判断・表現〕【未来像を予測して計画を立てる力:レベル3】

・これまでの取組について、自分たちと地域等のつながりを意識して振り返るとともに、他者の意見を踏まえて、周りの人や社会、地域の影響を考えようとしている。

〔主体的に学習に取り組む態度〕【つながりを尊重する態度:レベル3】

尺度 資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
つながりを尊重する態度	自分と周囲の人や社会、地域のつながりに関心を持っている。	自分の行動が、周囲の人や社会、地域にどのような影響を及ぼすかを考えて行動できる。	自分と周囲の人や社会、地域とのつながりを自覚するとともに、自分の行動が及ぼす影響を理解している。	自分と周囲の人や社会、地域とのつながりを自覚し尊重するとともに、自分の行動が及ぼす影響を理解し、社会や地域に貢献することができる。
進んで参加する態度	集団の中で与えられた役割を理解している。	集団の中で与えられた役割を理解し、受け入れ、ものごとに自ら進んで行動することができる。	集団や社会における役割を理解し、自分の発言や行動に責任を持って行動することができる。	集団や社会における役割を理解し、自分の発言や行動に責任をもち、やるべきことを自ら見つけて主体的に行動できる。
未来像を予測して計画を立てる力	自分の目標を明確に持ち、実現に向けて計画を立てることができる。	自分の将来のあるべき姿を考え、実現に向けて計画を立てることができる。	自らの経験や現状をふまえて自分の将来あるべき姿を考え、他者への影響も想像しながら、実現に向けて計画を立てることができる。	自らの経験や現状をふまえて、社会にどう関わっていくかを考え、自分や社会の将来あるべき姿の実現に向けて計画を立てることができる。

### (3) 準備物

ワークシート、発表用スライド(Google スライド)、振り返りカード(ロイロノート)

(4)学習の展開

	学習内容・学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 【御調高 GP】 (評価方法)
導入(5分)	○本時の目標・流れを知る。【視聴覚教室】	◇各グループの教室割、役割分担を再度全体で確認する。	
移動(2.5分)	【各教室へ】		
展開(50分)	○意見交換会の流れを確認する。(1分) ○グループ毎に研究内容を発表する。 ・自己紹介。(5分) ・発表用スライド(Google スライド)を提示しながら発表。(各3分×3人) ・生徒の一人が感想を発表。(各2分×3人) ・発表後は参加者からの質問や意見に答える。(各8分×3人)  ○意見交換会を振り返り、ロイロノートで提出。(5分)	◇ロイロノートを用いて、流れを視覚化する。  ◇発表はメモを取りながら聞かせる。 ◆発表者だけでなく、司会、タイムキーパー、感想を発表する人に生徒を割り当て、責任感をもって協議に参加させる。	○自分たちの目標や計画を踏まえて、今後の展望を見据えたスライドを作成している。〔思考・判断・表現〕【未来像を予測して計画を立てる力】 ○これまでの取組について、自分たちと地域等のつながりを意識して振り返っている。〔主体的に学習に取り組む態度〕【つながりを尊重する態度】(Google スライド)  ○他者の意見を踏まえて、計画を修正している。〔思考・判断・表現〕【未来像を予測して計画を立てる力】 ○他者の意見を踏まえて、周りの人や社会、地域への影響を考えようとしている。〔主体的に学習に取り組む態度〕【つながりを尊重する態度】(ワークシート)(ロイロノートの振り返りカード)
移動(2.5分)	【視聴覚教室へ】		
まとめ(10分)	○振り返りを全体で共有する。	◇本時の活動を自己評価させる。	
<p><b>生徒の振り返り例</b></p> <p>アドバイザーの方々と交流することによって、自ら発見した課題と実際の取組にズレが生じているかもしれないと思った。今考えている展望が、自分の設定した最終目標や達成したいことのためになることなのか、地域の方々の力を借りながら、取組を行えるように計画を修正したい。</p>			

	○今後の流れを知る。	◇2月の中高合同発表会を意識させる。	
--	------------	--------------------	--

○本時の評価ルーブリック

〔思考・判断・表現〕【御調高 GP:未来像を予測して計画を立てる力】

A(十分満足)	B(おおむね満足)	C(努力を要する)
自分たちの目標や計画、これまでの活動状況を踏まえて、今後の取組についてスライドを作成するとともに、他者の意見を踏まえて計画を修正している。	自分たちの目標や計画を踏まえて、今後の展望を見据えたスライドを作成するとともに、他者の意見を踏まえて、計画を修正している。	自分たちの目標や計画を踏まえて、今後の取組についてスライドを作成し、発表している。

〔主体的に学習に取り組む態度〕【御調高 GP:つながりを尊重する態度】

A(十分満足)	B(おおむね満足)	C(努力を要する)
これまでの取組について、自分たちと地域等のつながりを意識して振り返るとともに、他者の意見を踏まえて、周りの人や社会、地域への影響を考え、計画を修正しようとしている。	これまでの取組について、自分たちと地域等のつながりを意識して振り返るとともに、他者の意見を踏まえて、周りの人や社会、地域の影響を考えようとしている。	これまでの取組について、自分たちと地域等のつながりを意識して振り返っている。